

四季の玩具

メンコ・ビー玉・竹馬・笹舟・水鉄砲・紙鉄砲・杉鉄砲・
ヤジロベエ・虫かご・竹機関銃・風車・竹とんぼ・かるた・
すごろく・お手玉・たこ・そり・竹下駄・童歳時記色紙 ほか

エピソード・コラム

アメリカ人形

芝居と人形…山辺人形芝居・寺津人形芝居・曲川人形芝居

資料提供者および協力者（順不同 敬称略）

岩村忠・稲村誠・榎本貴義・本田正一郎・梶川モヨ・鈴木聖雄
村木せつ・工藤幸治・柴田せい・土赤友康・渡部鉄蔵・石塚伶
子・塚原名右衛門・吉村功・梅津富美子・岩城久太郎・仲島忠
昌・佐藤源治・武田由紀子・吉田慶二・楨光章・原田源之助・
菅野義夫・石川清治・武田一男・田中幸一・花淵盛重・豊岡菊
江・二藤部千代・稲村七郎左衛門・酒井忠一・竹谷義一・鈴木
富生・阿部房太郎・佐藤久太郎・渋谷和夫・鳥兎沼宏之・阿部
太彦・涌井弥瓶・阿部徳・鈴木嘉道・板垣英夫・吉田幸子・小
林清次郎・秋葉篤太郎・佐藤好次郎・三丁目繁弥・打田早苗・
小川邦昭・石垣肇・秋葉佳信・寺津人形保存会・月刊やまがた
社・新庄市教育委員会・河北町立中央公民館・東根市立東根第
三中学校・山形市立第一小学校・山形市立蔵王第一小学校・東
根市立東郷小学校・致道博物館・酒田市立資料館・山形大学附
属博物館・中山町立歴史民俗資料館・本間美術館

主な行事

- 公演 「天楽人形芝居」
日時 6月26日(日) 午後1時30分～3時
講師 吉田天楽丸氏・天楽人形芝居保存会
演目 岩見重太郎「大蛇退治の場」
煙草屋喜八「不動明霊験記」
鑑鉄坊さん傘踊り
- みんなで作ってみよう「山形花泉だこ」
日時 8月5日(金) 午前10時～午後3時
講師 阿部太彦氏（山形花泉だこ製作者）



紅花の山形路

やまがたの玩具展



獅子頭（安政2年銘）

開催にあたって

県民総参加による「紅花の山形路」観光キャンペーン
パートIIに参加して本展を開催します。

山形の風土の中で生まれ、子供たちとともに育まれて
きた山形の玩具を一堂に集め、玩具を通して、親と子の
対話をはかり、あわせて私たちのふるさとを考えること
を目的とするものです。

この特別展を開催するにあたり、多くの方がたからご
協力をいただきました。厚くお礼を申し上げます。

昭和58年6月

山形県立博物館長

- ◆期間 6月11日(土)～9月4日(日)
- ◆主催 山形県立博物館
- ◆協賛 山形県観光キャンペーン推進協議会

今の子供の遊びには季節感が少なく、玩具も既製品が多いようです。

昔は、野原に生えている草や木・竹、家にある布切れや紙などで玩具をつくり、四季おりおりの遊びを楽しみました。お手玉や風車（かざぐるま）、花の冠や笹舟、水鉄砲などはつくることが遊びであり、使うことも一層楽しい遊びでした。

これらの遊びの中で、自然に情操や体力、集中力や創造力がつちかわれ、仲間づくりが行われました。



水鉄砲

* 春の遊びと玩具



雪が消えるのを待って、子供たちは外にとび出します。乾いた地面をさがしてメンコやビー玉・こままわしをし、ゴムとびや縄とびをします。また、竹馬に乗って歩きまわり、自転車のリムや桶のタガ

メンコを回して走りまわります。

広場で、カンけりや石けりをし、シロツメクサやツツジの花で冠やレイをつくって体を飾ります。

* 夏の遊びと玩具 * 秋の遊びと玩具

* 冬の遊びと玩具



竹下駄

郷土の玩具

—遊びの玩具—

たこ…米沢だこ・高畠だこ・上山版木だこ・山形花泉だこ・谷地だこ・隠明寺だこ・酒田だこ ほか。
 伝統こけし…鳴子系・遠刈田系・弥治郎系・山形作並系・蔵王高湯系・肘折系 ほか。
 木地玩具…こま・将棋駒・馬車・犬車・風俗玩具 ほか。
 姉様…山形姉様・最上姉様・鶴岡姉様・めぐ・酒田姉様・きびから姉様・いなし株人形
 手まり…小国手まり・米沢手まり・尾花沢手まり
 鶴岡御殿まり
 カルタ…百人一首・詩カルタ・北海道板カルタ
 トコトコ人形・ガラガラ・春駒 ほか。

—信仰玩具—

笹野彫・木偶・山の神・風車・福雀
 獅子玩具…獅子頭・板獅子
 土人形…相良人形・小菅(成島)人形・平清水土人形・岩城土人形・猪野沢人形・横前土人形・涌井土人形・鶴岡土人形・鶴岡天神・酒田土人形
 練り人形…渋江人形
 張子人形…渋江人形・山形張り子・豊岡人形
 わら人形…わら馬・かせどり・やまいおくり・十二支・精霊馬 ほか。
 風車…花屋の風車
 いずめこ人形・はいはい人形 ほか。
 折り紙

—節句の玩具—

土人形…相良人形・小菅(成島)人形・平清水土人形・竹鍛治人形・猪野沢人形・横前土人形・鶴岡土人形・酒田土人形
 押絵…山形家中雛・鶴岡押絵雛・庄内押絵・建て前雛・駒雛
 こいのぼり

上方の玩具

衣裳人形・五月人形・竹田人形・御所人形

郷土の玩具

日本の各地では、地域的な特徴をもった玩具が多くつくられ、その種類は数千種にもものぼると言われています。これらは、もともと山野に自生する木や竹、付近の粘土・わら・手すき和紙などを使った手づくりの玩具で、山形でも、こけし・土人形・たこ・手まりなど、多くの郷土の玩具がつくり続けられています。

これらの玩具は、その土地の人々の生活や習慣とも深くかかわりながら、親から子へと伝えられて来たもので、地域の風習や歴史を知る上でも重要な資料となっています。



*遊びの玩具

小国手まり

子供たちは、こけし・こまなどの木地玩具やたこ・姉様・押絵・手まりなど、多くの玩具を友として一日を過ごします。

こけしは、子供のおしゃぶりとして用いられたり、人形としておんぶされたりもしましたが、東北の代表的な玩具として、今もさかんにつくられています。

たこには、美しく彩色された手がきだこや版木だこがあり、絵がらや骨組みなどに地域的な特徴が見られます。



人だこ



福助だこ



伝統こけし一肘折系



木地玩具一七福神

*信仰玩具

郷土の玩具の中には、子どものすこやかな成長を願うための「ほうこ」や学問の神としての「天神」、商売繁盛をもたらす「エビス」「大黒」を始め、五穀豊じょう、家内安全、開運出世、子授け安産、病気平ゆなど、庶民の安らかな生活や幸福、健康を願う玩具が多くあります。

これらの玩具は、民間信仰と結びついたり、また縁起物として、郷土の玩具の中で大きな比重を



笹野彫一おたかぼっぼ



はいはい人形

占め、神社や寺院の祭礼、縁日などの露店に並びます。

* 節句の玩具

江戸時代も半ばを過ぎると、庶民の間にも、雛祭りなどの節句の行事が行われるようになります。親は子どもの将来に夢を託しながら、愛情を込めて、布切れで人形をつくり、また土や張子、練り物の人形を買って雛段に飾ります。また、五月節句には、金太郎や義経・弁慶、武者などの土人形を求めます。これらは、上方の衣裳人形のような豪華さはないものの大変愛らしいものです。



相良人形—おたふく



鶴岡土人形—子守り



酒田土人形—ガルマ抱き



小菅(成島)人形—内裏

上方の玩具

江戸時代に入ると、陸路としての羽州街道が整備され、海上では、日本海を大坂まで上る西廻り航路が開け、北前船などの干石船が多く物資を運びました。

山形の商人たちは、紅花・青苧などの特産品を上方に送り、上方からは、塩・陶磁器・古手などと共に、子供たちの節句飾りとして「からくり人形」や「御所人形」・「衣裳人形」をもち帰りました。

また、大名の国替や参勤交代により、各地の特色ある玩具がもたらされました。



からくり人形—太鼓打ち



押絵雛



竹田人形—いなせの六郎



御所人形—立童子